

図書館様向け

まるえむ通信

丸善出版書籍営業部発行

通信 M

Vol.1 新春号
2021年1月

「まるえむ」
とは
丸善の
ロゴが
きらいです。

次号の特集に
まつたこの白紙...

あけましておめでとうございます。昨年唐突に始めた図書館様向けのこの「まるえむ通信」。
Vol.0の準備号？を経て…正式にVol.1新春号をお送りさせていただきます。
図書館と出版社がもっと繋がって、地域の皆さんや学生さんにも
役立つ情報を(役立つない情報も…)お届けできればと思いますので、
どうぞ本年もよろしくお願いたします！(イ)



まだVol.0(準備号)しかないですが、バックナンバーはこちらから→

営業マンの
おすすめの1冊 (うちの本ではないけれど
どうしても
おすすめた
のです！)

今回は
元営業の(イ)が
Twitterも
(イ)でつぶやいて
います。

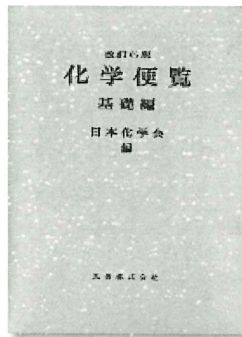


『あかんやつら 東映京都撮影所血風録』
春日太一 著
(文藝春秋)

(イ)は映画が好きなのですが、「映画史」も好きなのです。
なぜその時代にその映画が生まれ、どんな技術が使われ、それが後にどう影響し、素晴らしいスタッフや俳優に引き継がれ、新しい映画が生まれていく…という歴史がとても面白いと思います。
あとは、あの映画が生まれた背景にはそんな破天荒な映画人たちのエピソードがあったのね！みたいな裏話も面白いですよね。

この本は、時代劇・映画史研究家の春日太一氏が、10年の歳月をかけて完成させた1冊。京都・太秦、東映撮影所の照明、美術、脚本、殺陣師、監督などスターを輝かせるために奔走した裏方・職人たちへの取材がもとになっています。

戦後GHQに時代劇が規制されていた時期があった！？映画作りはやはりとんでもなくお金がかかる…あの傑作の裏側ではそんなとんでもないことが！…と、映画・映画史好きの(イ)に限らず、「水戸黄門」などの時代劇を一度でも見たことがある方には、楽しめる内容になっていると思います！



今月の改訂版

16年振りの全面改訂！『化学便覧 基礎編 改訂6版』日本化学会編
2021年1月刊行 定価:本体 45,000円+税
B5判・1536ページ ISBN:978-4-621-30521-8 NDC:430
旧版情報:『化学便覧 基礎編 改訂5版』2004年 ISBN:978-4-621-07341-4

『化学便覧 基礎編』…いかにもいかめしいタイトル。

この本を『丸善百年史』よりひも解くと1952年8月に初版が刊行されたと記されています。

そのころに発売されたタイトルを見ると『化学工学便覧』(1950年)、『金属便覧』(1952年)、『鋳物便覧』(1952年)、『電気化学便覧』(1953年)など、丸善は多くの便覧の初版を刊行しています。

インターネットがなかった時代、そして戦後日本が復興するために体系だった知識が世の中で求められ、これらの本が世の中に生み出されることになりました。

現在ではインターネットが普及し、情報過多の社会となりました。そのなかで多くの便覧の改訂は減少しましたが、質の高い、信頼を置ける情報はどこにあるのか…？
そのようなことが、逆に問われるようになってきています。

この時代の中、信頼できる情報源として『化学便覧 基礎編』は16年の時を経て6回目の改訂を迎えたのです。ぜひ貴館で『化学便覧』を蔵書頂くことができますと幸いです。(書籍営業部 KY)



2009年入社。図書館営業大好きマン。
営業部唯一の理系出身。



Coffee break

某ケータイショップにて新規会員登録の待ち時間、
入り口で働くペロペロちゃんをボーッと見ていた(イ)。
するとペロちゃん「ボクのこと見てたでしょ」といって声をかけました。
顔を特撮ポイントに言語の4444と7777をFドできた。
その画像認識の技術にも
あどろましました。



【コラム】マスクをつけた「医顔」の時代に思う
—アフターコロナにおける顔とは？
原島 博(東京大学名誉教授、日本顔学会元会長)

本書のエピソードにも収録されている
原島先生のJYAが丸善出版HPで
ご覧いただけます。

『ビジュアル 顔の大研究』
2020年12月刊行 定価:本体 4,200円+税
A4変判・96ページ ISBN:978-4-621-30557-7 NDC:

